

アストロバイオロジーセンター系外惑星探査プロジェクト室 年俸制職員 特任研究員 公募

1. 募集職種・人員 年俸制職員（特任研究員）1名
2. (1)所属部門 系外惑星探査プロジェクト室
(2)勤務地 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内
3. 募集分野 赤外線高分散分光器の開発
4. 職務内容

このポストは科学研究費助成事業、科学研究費補助金・新学術領域研究、研究課題：「赤外線による若い惑星とハビタブル惑星の観測の新機軸」（代表者：田村元秀 東京大学教授）に関する研究・開発を、国立天文台での研究分担者である小谷隆行助教と共同で行うものです。職務内容は下記のとおりです。

- 南アフリカ望遠鏡用赤外線高分散分光器の設計・製作・テスト
- 南アフリカでの現地環境調査・装置インストール・テストと保守運用
- 南アフリカ望遠鏡との相互フォローアップ観測のために、すばる望遠鏡用赤外線ドップラー装置（IRD）の運用を一部担うこと

5. (1)着任時期、(2)雇用期間
平成31年4月1日 ～ 平成34年3月31日

※ 年度毎に業績評価を受けていただくこととなります。

※ ただし、平成25年4月以降自然科学研究機構での雇用歴がある場合、通算雇用期間が10年を超えないように設定されます。

6. 応募資格

- 博士の学位を有すること、又は着任時までに取得見込みであること。
- 装置開発・運用の経験があること。分野は問いませんが赤外線装置・分光器開発の経験がある方を優遇します。
- 英語での文章作成・口頭でのコミュニケーション能力
- 日本国内の普通自動車免許

7. 提出書類

(1) 履歴書：写真付（履歴書の連絡先にE-mailアドレスを記入すること。）、(2) 研究歴：任意の様式による。A4サイズ2ページ以内、(3) 業績リスト：原著査読主著論文、原著査読共著論文、原著非査読論文、和文査読論文、著書、招待講演、口頭発表、その他業績の参考となる事項、をそれぞれ別葉とし、新しいものから番号を振ること。共著の論文については、6名以下の場合には共著者名をすべて記入し、7名以上の場合には以下を省略し申請者の順番を示すこと（任意の様式による）、(4) 論文別刷：主要な論文3編以内（学位論文及び投稿中を含む）のPDFファイル、(5) 研究計画書、(6) 本人について意見を述べられる者2名の氏名と連絡先。

8. 応募締切 平成30年12月14日（金）日本時間 17:00必着
（但し、適任者が見つからない場合は公募を継続します）

9. (1)提出先 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 アストロバイオロジーセンター
E-mail : abc-apply <at> abc-nins.jp
※“<at>”を@に置き換えて送信して下さい。（以下、同様）

(2)問合せ先

アストロバイオロジーセンター／国立天文台 小谷隆行

TEL : 0422-34-3900（内線3070）

E-mail : abc-apply <at> abc-nins.jp

但し、職務内容に関する問い合わせは以下のメールアドレスへ送信して下さい。

E-mail : t.kotani <at> nao.ac.jp

10. 応募上の注意

- ・ メールタイトルは「特任研究員応募」と明記願います。
- ・ 一度に添付するファイルのサイズは10MB以内として下さい。
- ・ 応募書類受理の後、祝休日を除き3日以内に受領確認のメールを送ります。メールが届かない場合には、上記問い合わせ先までご連絡下さい。
- ・ 応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用致しません。選考後、採用内定者以外の応募書類は責任をもって破棄します。
- ・ 面接に要する費用（交通費等）は応募者の自己負担となります。

11. その他

- ・ 裁量労働制の常勤職員として月額給与35万円その他、通勤手当（上限55,000円／月）が支給されます。また本研究課題に目的を限定した、年あたり50万円の研究費が使用出来ます。
- ・ 文部科学省共済組合（健康保険）、厚生年金保険に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。
- ・ 着任に必要と認められる転居を行う場合、赴任旅費が支給されます。
- ・ 科学研究費助成事業への応募資格があります。（応募要件、応募可能種目などの詳細は、事前にお問い合わせ下さい）
- ・ 自然科学研究機構は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。